

畜産 FAX 情報 第 9 号

令和 6 年 9 月 1 5 日

発行：ゆとりみらい 21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

土壌サンプリング

土壌分析を行うことにより現在の土壌養分量に応じた減肥が行え、肥料費の削減と収量の維持が両立しやすくなります。積極的に土壌分析を行いましょう。また、土壌の深さによって養分量は異なるので注意しましょう。土壌の性質（土壌区分・土性）も分析に関わる重要な情報です。正確に記しましょう。

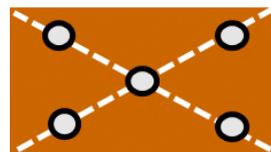
採取したサンプルは農協窓口にて受付しています(窓口:営農部生産販売課)。

○土壌採取の仕方

- (1) 維持管理草地：牧草の株を避け、ルートマットの有無にかかわらず深さ 5 c m までの層を採取。
- (2) 改良対象草地：プラウで反転耕起したあとに表層になる部分を採取（一般的な耕起深は 2 5 c m 程度）。
- (3) 飼料用とうもろこし：作土を採取（耕起深、概ね 2 0 c m 前後）。

※注意点

- ・ほ場内で均等になるように 5 箇所以上から採取。
- ・水の流れた跡や極端な傾斜、枕地になるような端は避ける。
- ・地面に対して垂直に掘り、約 500g 程度採取する。



サルモネラ症等の感染症や乳房炎が流行しやすい時期です！

石灰帯、踏み込み消毒槽の設置など、基本の飼養管理を徹底しましょう。

特に水槽はこまめに清掃し、清潔に保ちましょう。